



令和2年度 校長だより

令和2年11月20日(金)

# 大野の風

No.6

文責 松下 義彦

## 新しい生徒会の出発にあたって

11月19日(木)新生徒会役員認証式が行われました。  
11月6日(金)に行われた選挙により選ばれた7名の総務と各委員会の委員長・副委員長16名、体育部長・文化部長合わせて25名の新執行部が誕生しました。これから大野中学校をさらに良い学校にしていくために、生徒会全員で力を合わせて頑張っていってください。



みなさん こんにちは。

さて、旧生徒会役員のみなさん、一年間お疲れさまでした。今の気持ちはどうでしょうか。やり切ったという満足感があるでしょうか。

この一年間、苦勞したこともたくさんあったと思います。特に今年はコロナウイルスの影響で大きな学校行事が中止となり、生徒会としても例年と違った日常生活を中心とした活動が多くなり、戸惑いもあったのではないかと思います。しかし、そんな中でもあいさつや無言清掃などの大野中学校の伝統を立派につないでくれました。この生徒会役員としての経験をこれからの人生にしっかり活かしていってください。

また、その生徒会役員を支えてくれた生徒会のみなさん、ありがとうございました。生徒会は、役員だけががんばってもうまくいきません。それを、協力し、周りでささえるみなさんがいたからこそ、この一年間が充実したものになったと思います。本当にありがとうございました。

次に、新役員のみなさん、今日から、みなさんは、代表として、生徒会を引っ張っていかなければなりません。役員になったばかりで不安な気持ちもあるかと思いますが、今の気持ちを大切に、みんなで協力し、今年の役員に負けないように頑張ってください。

立会演説会の時にも言いましたが、学校生活は、授業でも、休み時間でも、部活動でも、生徒会活動でも、あらゆる場面で主役はみなさんです。ですから学校生活を改善するのも主役はみなさんです。

しかし、一人だけでは学校を変えることは難しいです。だから、みんなの力を合わせて自分たちの生活をよりよいものにして、大野中学校を魅力ある学校にしていってください。学校がよりよくなり、みんなが安心して楽しく学校生活を送るためには生徒会活動の活性化が何より大切だと校長先生は常々思っています。

そこで、みなさんに期待することを一つだけお話しします。

元プロ野球選手で、中日ドラゴンズの監督も努めたことのある落合博満さんが話された中に「信じて投げて打たれるのはいい。信じて投げて打たれたのなら、それは結果。一番いけないのは、やる前から打たれたらどうしようと考えてること。」と言った言葉があります。

この意味をみなさんはわかりますか。何かやろうとするときに、やる前から失敗を恐れずに、チャレンジすることの大切さを言った言葉です。この言葉のように学校をよりよくするために、失敗を恐れず、何事にもチャレンジ精神でやってください。いろんな意見を出し合い、少し難しいなと思えることにも挑戦してほしいと校長先生は思います。

それではみなさんのこれから頑張りを期待しています。

【認証式での校長先生のあいさつより】